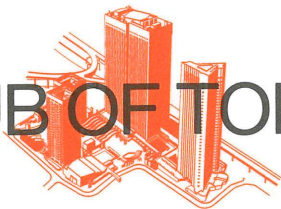




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ/ビチャイ・ラタクル会長

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ/吉田用親会長

【本日の例会】 8月9日 第758回例会

◎卓話

知的障害者の新聞「ステージ」・
新聞記者の「罪滅ぼし」

毎日新聞社 生活家庭部副部長
長 倉 正 知 氏

【先週報告】 8月2日 第757回例会

◎幹事報告

次週 8月16日例会は休会です。
事務局の夏休みは8/12～18です。

◎慶事披露

誕生日祝/鈴木康一君 (8月1日) 大村富俊君 (8月3日)
岸義武君・田村廣治君 (8月5日)
100%出席祝/石坂二郎君 (9年)

◎出席報告

会員66名/出席42名・欠席24名 (出席規定免除者6名)
ビジター2名



8月2日/12件 30,000円
2002～2003年度累計 186,400円
多額の御寄付を有難うございました。

大日方真/清水實さんのイニシエーションスピーチ、応援します。ニコニコも担当とは大変ですね。柴本芳郎/清水さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。村山公士/お暑うございます。今年は特に暑さが厳しく感じられます。入沢頼二/清水さんのイニシエーションスピーチ声援します。岸義武/30代最後の誕生日です。ありがとうございます。鈴木康一/久しぶりに出席して誕生日祝カッコ悪い！です。石坂二郎/9年の皆出席を頂けるそうです。良くあきもせず頑張りましたね。開発英基/来週は夏休みです。伯井隆義/8月のSAAリーダーを務めます。ご協力をお願いいたします。石井謙次/毎日暑い日が続きます。皆さんお体に気をつけて。来週の火曜会皆さん出席お願いします。青木政明/暑いですね。皆さん夏ばてには気をつけましょう。清水實/今日はイニシエーションスピーチです。適度な緊張感を持って話したいと思います。

8月定例理事会議事録

日 時 8月2日例会後13:40～15:00
場 所 東京全日空ホテル 1F かげろう
出席者 吉田 (用)、小杉 (修)、西澤、福島、大日方、立林、
開発、新保、吉岡 [順不同・敬称略]

決議事項

1. 新会員候補者1名の入会を承認。
2. 事業所変更による職業分類変更の件/
小杉真史君 新事業所/富士通(株)
(大分類) 製造業 (中分類) 電子機器製造業
(小分類) コンピュータ製造 に変更することを承認。
3. 長期欠席者の年会費は、クラブ細則第5条第2節通とする。
4. ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会 (9/20) の
テーマ「職業奉仕」を承認。
5. 忘年家族会 (12/13) の出演者に西村光世氏 (ハーブ奏者)
を承認。
6. 地区提唱の「新世代環境フォーラム」の協力金25,000円
をニコニコ会計より支援することを承認。
7. バギオ基金役員に石坂二郎君を推薦。評議員は推薦しない。
8. 米山奨学生・党偉栄さんへ餞別を贈る件 (奨学期間9月
終了) を承認。

報告事項

会長報告

- ① 超我の奉仕賞/推薦者なし。
- ② 2004～2005年度ガバナー・ノミネー候補者の推薦はしない。
- ③ 意義ある業績賞、RI広報賞の応募の件
- ④ 危機管理委員会設置について継続検討する。

幹事報告/新会員・武内光晴君のカウセラーに武下朗君を指名。

会計報告/7月末

プログラム委員会/8月卓話予定

2003学年度米山奨学生募集について

米山奨学会より「2003学年度募集要項」を各大学に送付致しました。米山奨学生の募集及び申し込みは、大学を通して行われます。詳細はクラブ事務局までお願いします。

次週 8月16日 (金) は休会 (夏休み) です。

【次回予告】 8月23日 第759回例会
ブッフエスタイル例会の為卓話はありません。(B1 オーロラ)

「コンピューター、旅行そして音楽」

当クラブ会員
株式会社 アイラス 取締役
清水 實



私は東京、荻窪に生まれ、子供の頃は役人であった父の転勤のたびに地方と荻窪を交互に繰り返しながら過ごしてきました。小学校は3回転校しました。小学校6年から高校迄は群馬県の前橋で過ごし、前橋は第二の故郷です。高校を卒業し東京に戻りそれからずっと生れた荻窪に住んでおります。大学では高校で始めた男声合唱にのめり込み以来40年合唱をやり続けています。

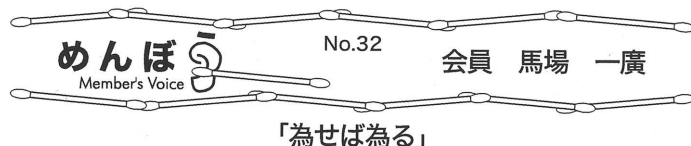
1963年IBMに入り30年間はIBMで過ごしました。入社した頃のコンピュータ利用の初期は『仕組みを全て知って使う』時代でしたが、現在は殆どの部分が『ブラックボックス化』して『仕組みを知らないでコンピュータを利用する』時代になり隔世の感がします。

10年前現在の旅行業に移り、まず感じたのは利益率の低い業種だ、ということです。パッケージ旅行では主催会社であるホールセラーの作った商品を、手数料の40%も50%もはき出して値引して売らないと競争にならない、という世界でした。この利益率が低いということは薄利多売に徹しなくてはやっていけないということです。ところが私共アイラスという会社の社是ともいうべき方針は『親身な対応、行き届いたサービス』なのです。沢山売るためには効率的に処理しなくてはならない。しかも親身な対応をしなくてはならない。私は随分難しいことを現場に要求していることになります。

アイラスという会社は日本IBMでは海外出張が多いので、ということで10年前に出来た会社です。しかし日本IBMの親会社であるIBMコーポレーションから指示があると従わなければいけないという宿命を持っています。5年ほど前に親会社からの指示で全世界のIBMの業務出張は2社にしぼるという指示から、アイラスではIBM社員の海外出張は扱えなくなりました。この時は旅行業から撤退するか否かの決断でしたが、若干の縮小は行いましたが事業は続けて今にいたっています。現在はIBM以外の100社程のお客様の海外出張を扱い海外売上約半分になっています。

このように厳しい業界ですが、海外であれ、国内であれ、ご旅行後『良い旅行だったよ。』と言って頂く一言が何よりもうれしいのは旅行を担当する全ての人の気持ちでしょう。また、ご旅行後クレームを受けることは、残念ながら非常に多いのが事実です。この対応：おわびする時『本当は私どもの責任では無い』というような対応を絶対にしないで『窓口の私どもの責任です。』という態度で親身に対応すると、相手の方も理解して下さり、災い転じて、将来のリピーターを開拓することにもつながります。

大学を卒業してから40年、稲門(トーマン)グリークラブというクラブ組織に属し、何年間かは全体の責任者としてクラブを運営してきましたので、ロータリークラブの運営の難しさもよく解かります。それゆえに入会の際は迷いもりましたが、入会したからには火曜会(練習日)以外は多くの行事に参加したいと思っております。



「為せば為る」

7月26日のクラブ協議会で「クラブ拡大について」拡大検討委員会の経過報告と会員の意見の開陳がなされましたが、聞いていてがっかりしました。会員の意見の大方はこうでした。『「クラブの拡大」の意義や目的は良く分るが、……という訳でやめたほうが良い、あるいは、時期尚早だ』。私は、創立16年目を迎えようとするクラブ会員のロータリー観としては問題ではないかと思いました。特に拡大というロータリー運動の中にあつてその重大性を認めながら色々の理由を述べて、拡大に骨折ることを否定するという論理がロータリー的であるとは思えなかったからです。

ロータリーは奉仕の理想を志すものの集いの筈です。奉仕の理想とは我々が価値あるものと考え求めようとしている目標であり、志すというのは奉仕の理想に向かって現実に犠牲をはらうようなことがあつても、限りなくその達成のために努力しようということではないでしょうか。自分の中でいつも相克する利他と利己の狭間で少しでも利他であろうとする姿こそがロータリアンではないでしょうか。そこにこそロータリアンであることの喜びがあり、ロータリーの魅力があるのではないのでしょうか。ロータリーはロマンであり、燃えるものであり、人間的なものだと思います。

拡大については地区から指示されたものではなく、クラブ内部から創立15年ということに端を発して出てきたものです。だとすると拡大をする前提のもとに「拡大するには、どんな問題があるか」「それらの問題を解決するためには、どんな方法があるか」等検討されるべきで、その上で会員にどのような理解と協力を求めようとするのかを明確にされたらいかがでしょうか。

そして拡大をするかどうかの最終判断は理事会が決めることになるのでしよう。

周辺クラブが拡大を実現しているのに、何でわがクラブがこれが出来ないのでしょうか。出来ない筈はない。万一拡大をやろうと決めることも出来なかったとすれば、それこそわがクラブの中に潜在している問題があるからであつて、そのことが私には重大事だと思われます。

「為せば為る」会員全員が委員会をサポートし、ロータリー精神に則つて、よりよきロータリーライフを構築しようではありませんか。我々にはよき仲間がいるわけですから、皆が前向きになればかならずうまくいく筈です。